

プロが30代ファミリーにおすすめする住宅設備 設備別回答ポイント

(2005年5月、アットホームボックス調べ)

■上位3設備

●床暖房

30代に限らないが、床暖房は冬場でも子どもも素足で遊べたり、乾燥しにくいので体にも良い。

●浴室乾燥機

洗濯物が大変なので、浴室乾燥機や室内に洗濯物を干す「ホスクリーン」などはお勧め。

●追い炊き機能付きバス

入る時間は確実に異なるだろうから必須か。子どもの汚した洗濯物をすぐに乾かせたり、生活リズムが違っていつでも温かい風呂に入れたり、設備は家族みんなのことを考えてを選びたい。

■玄関まわり

●シューズインクローゼット・玄関収納

玄関脇に設けた土間続きの収納スペース、SIC（シューズインクローゼット）があれば望ましい。子どもが小さい内は、ベビーカーなども入れられる。また、子どもが大きくなれば部活用のシューズ、10代の女性にはブーツなどかさばる物も見えなくてすむ。それに、お父さんのゴルフバックも入る。

●モニター付きインターホン

カメラ付インターホン（録画機能付）があると、不在時の訪問者を確認することができる。親が不在で子どもだけのとき、どんな誰が来たのか確認しきれないので、録画機能があるとセキュリティ的にも便利。

●玄関先洗面台

玄関近くに洗面台があると、手洗いの意識がかなり変わる。子どもに欠かさずさせたい手洗いとうがいをしっかり習慣づけるために、良いかもしれない。

■キッチンまわり

●カウンターキッチン

炊事をしながら子どもに目が届くし、柵などしてキッチン内に入ってこれないようにできる。

●カウンターデスク

LDK内のワーキングスペースに設けるカウンターデスク。子どもが小学生のうちはこちらで勉強させられるし、パソコンを置いたりと多目的に使えて便利。

●防音性の床

集合住宅は床の防音対策が特に重要である。小さなお子どもの走りまわる足音は意外と響くので、マンションだと床材の防音は高性能であった方がいい。

■風呂まわり

●自動湯はり

家事育児をしていると、湯はりのことをとんと忘れることもあるから、自動湯はり機能は必須。すっかり忘れてしまっても、お湯があふれることがなく、無駄が防げる。追い焚き機能があり、キッチンから操作できるタイプもある。

●浴室インターホン

浴室インターホンは、キッチンと浴室間で会話ができる給湯器リモコン。子どもがお風呂に一人で入れるようになったとき、お風呂で寝てしまうことがあるため、付いていると安心。

■その他

●スロップシンク

バルコニーやユーティリティスペースなどに設置する底の深い流しがスロップシンク。スニーカーやお絵かきをした筆、外で遊んだおもちゃなど、マンションの場合は特にほしい設備。子どもの汚れものは、手洗いの必要なものが意外と多く、庭のないマンションでは特に重宝。

●階段の滑り止め・手すり

普段全く気にしないが、あるとお子さんを抱きかかえて上り下りしたりする場面で安心感がある。手すりは、お年寄りだけでなく、子どもを抱えながらの移動にも重宝する。

●屋根裏部屋・ロフト

子どもは成長すると自分の部屋を欲しが。屋根裏部屋は小さい子どもの部屋になるし、大きくなったら収納部屋にできる。

●和室

和室は若いファミリーには無用にも思えるが、赤ちゃんのお昼寝、ハイハイ時期など、和室ならではの安全性と便利さは使ってみて分かる。